

創立43年



# 本町小だより

令和7年度3月号 令和8年2月27日(金)発行

和光市立本町小学校

TEL 466-0855 Fax 466-0894

Email:honcho@wako-city.ed.jp

児童数 341名

## 新しい「道具」と、未来を拓く「心のしなやかさ」

校長 木村 美香

校庭の桜のつぼみが膨らみ、一年の締めくくりと新しい始まりの足音が聞こえてまいりました。保護者の皆様には、この一年間、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、この4月から、本校の子供たちが活用する学習用端末が「iPad」へと更新されます。直感的な操作が可能になるこの新しい道具は、子供たちの学びをより創造的なものへと進化させてくれるでしょう。しかし、私たちがこの更新を通じて本当に育みたいのは、操作のスキルだけではありません。それは、AI（人工知能）が普及する予測困難な時代を生き抜くための「レジリエンス（心のしなやかさ）」、すなわち「困難に直面しても、しなやかに立ち直り、自らを律して進む力」です。

### AI時代にこそ必要な「試行錯誤」と「自制心」

現在、国が進める次期学習指導要領の論点整理では、生成AIなどの進展を踏まえ、単に知識を得るだけでなく、「情報の真偽を見極め、自らの考えを形成する力」が強調されています。

AIは何でも即座に答えを出してくれますが、人生には「正解のない問い」が溢れています。失敗を恐れて何もしなかったり、一度のミスで心が折れてしまったりするのではなく、iPadという試行錯誤しやすい道具を使いながら、「まずはやってみる」「ダメなら別の方法を試す」という粘り強さを養いたいと考えています。

同時に、ICTという強力な道具を手にするには、相応の「責任」が伴います。便利な道具は、一歩間違えれば「単なる遊びの道具」や「人を傷つける凶器」にもなり得ます。だからこそ、今求められているのは、「自分をコントロールする心（自制心）」です。ネット社会のルールやマナーを学ぶ「ネットモラル」は、知識として知っているだけでなく、誘惑に負けずに「今は何のために使うべきか」を自分で判断し、実行する力です。この自制心もまた、困難な状況で自分を支える「心のしなやかさ」の重要な一部なのです。

### 学校と家庭で育む「賢い使い手」

ICTは特別な魔法ではなく、鉛筆や消しゴムと同じ「文房具」です。本町小学校では、この新しい文房具を使いこなす過程で、以下の力を育ててまいります。

知識及び技能：正しい情報を選び取り、ルールを守って安全に活用する力。

思考力・判断力・表現力：失敗を恐れず、「自分なりの答え」を創造的に表現する力。

学びに向かう力、人間性：誘惑を律し、ICTをより良い社会や自らの成長のために役立てようとする態度。

端末が家庭に持ち帰られる際、それは子供たちにとって最大の「自制心のトレーニング」の場となります。学校でも粘り強く指導してまいりますが、ご家庭におかれましても、使い方のルールを話し合い、子供たちが「賢い使い手」へと成長できるよう、温かい見守りと声掛けをお願いいたします。